

# 小樽ロータリー

## クラブ会報

14 No.4025  
創立1933.12.12

例会場：グランドパーク小樽  
例会日：毎週火曜日12時30分  
事務所：小樽市築港11番3号  
http://www.otaru-rotary.net/  
発行日：2016年10月11日

2016-17年度 国際ロータリーテーマ



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016~2017年度 RI会長 ジョン F. ジャーム (John Germ)



## 今日のプログラム

### 「マイロータリーの普及を目指し」

地区広報・IC委員会 副委員長 里見 英樹様

### 第13例会記録 2016年10月4日

#### ■ロータリーソング 「四つのテスト」

#### ■ゲスト紹介

市立小樽図書館 館長 鈴木 浩一様

#### ■会長報告 (泉会長)

- 先週の土曜日(10/1)、日曜日(10/2)に札幌パークホテルで開催された地区大会に総勢32名で参加してまいりました。スケジュールどおりに見事に議事進行され、その手際の良さに感心させられました。RI会長代理歓迎晩餐会及び大会記念懇親会の料理は素晴らしく、大いに楽しむことができました。
- 大会決議のうち是非報告しておきたい事として、2510地区のグループ再編成があります。具体的には第1と第2、第7と第8、第9と第12、第10と第11グループを統合しようという提案です。各クラブの意見を聴き、決定することです。

#### ■幹事報告 (上参郷幹事)

- 今月の国際ロータリー為替レートは1ドル102円です。
- 本日は軽食デーです。差額はロータリー財団に寄付します。
- 10月21日(金)18時30分より、レストラン「好」にて歴代会長会を開催します。歴代会長の皆様には既にFAXを送信しております。ご出席を賜りますようお願い致します。
- 例会変更  
◇小樽南RC 10月7日(金) 移動例会  
(場所：レストラン「好」)
- 本日例会終了後、Mテーブルで理事会を開催致します。

#### ■その他報告

##### ●北小樽村炉辺会(伊藤 保夫会員)

- 10月25日(火)18時より手宮の「千成寿司」で北小樽村炉辺会を開催致します。能島村長を囲みながら楽しい時間を過ごしたいと思います。沢山の皆様のご参加をお願い致します。

#### ■真心箱報告

- 泉 会 長…地区大会参加を終えて
- 上参郷幹事…地区大会では皆様にお世話になりました。
- 高 田 会 員…旧コースですが、今年初めての(通算3回目)エージシュートを達成しました。
- 河 辺 会 員…誕生祝いとして
- 熊 澤 会 員…地区大会での役目を無事終え、又、大会の記

念講演の水野会長とゴルフを共にできました。

- 野 口 会 員…誕生祝いとして
- 上 浦 会 員…①地区大会の遠征バスで多くの方をお待たせしてしまい大変申し訳ありませんでした。バスの中のゲームですが、佐藤慶一会員と山口真三子会員には特に喜んで頂けたようで安心しました。②安着会も15名も参加頂き有難うございます。
- 秦 会 員…①9月28日祝ファイターズ優勝！ススキノで盛り上がりました。②地区大会を途中で失礼しました。バスの中の風船セロテープ剥がしゲームではご迷惑をおかけしました。

## 前回のプログラム

「100年前に図書館ができた。小樽図書館のめざすもの」  
市立小樽図書館 館長 鈴木 浩一様

#### ■ゲストスピーカー紹介(例会運営委員会 関副委員長)

鈴木様は砂川市出身で1975年(昭和50年)に北海道庁に入庁されております。1983年に北海道教育委員会、1989年(平成元年)に北海道立図書館に赴任され、昨年退職されました。本年4月より小樽図書館の館長として着任されております。

#### ■市立小樽図書館

館長 鈴木 浩一様

#### 【はじめに】

市立小樽図書館は今年100年を迎えます。お手許にお配りしました「ついに100歳」というタイトルの「きつずおたる」という子供向けの図書館だより号外を後ほど読んで頂ければと思います。

#### 【市立小樽図書館の歩み】

- 市立小樽図書館ができたのは1916年(大正5年)です。1907年頃より「図書館を建てたい」という町の動きがありましたが、財政難等でなかなか実現しませんでした。1912年に「小樽図書館設立旨意書」ができ、1915年に大正天皇の即位の記念として図書館建設が決定しました。同年11月に道庁から設置許可がおりて、翌年8月1日に図書館が小樽公園内にできました。当時の小樽は人口約10万人で1920年の国勢調査では全国第13位と、とても大きな町でした。



- ・図書館の歴史でいうと、北海道立図書館は1926年（昭和元年）、歴史の古い函館市立図書館は1928年、札幌市立図書館は1950年の創立です。因みに北海道で一番古い図書館は小樽ではなく枝幸町です。1896年（明治29年）のオホーツクに於ける皆既日食の際、アメリカから調査団が枝幸町に来て観測を行いました。その御礼として何年かに亘り洋書を贈って戴いたようです。貴重な本を戴いたということで、1903年に町立図書館を創立、北海道で一番歴史ある図書館となり、小樽は2番目の創立となりました。
- ・当初は、建物も人も本もありませんでした。東京の日比谷図書館から田添司書を招聘して、本を買い始めました。今で言う準備室であったようです。当時は大正天皇の即位記念で全国的に図書館がたくさん建設されました。通常まず建物を作り、それから本と人を揃えるのが一般的でしたが、小樽の場合はまず人が大事と考え、東京から優秀な人材をスカウトしたことから始めたのが特徴です。小樽の先進性と考えています。その後、本を揃え、1年後の1917年8月から館外貸出を開始しました。蔵書は3,500冊程で、当時は図書館の本の貸出は有料でも良いという時代でした。当時の館外貸出の条件は、①図書価格に相当する保証金を払う、②学校長、官公庁・会社・銀行等の要職にある人の紹介や保証のある人、というものでした。
- ・1920年（大正9年）にはようやく館内に閲覧所が設置されました。1922年、小樽が市になり、市立小樽図書館と改称、翌年には念願の新館が落成し、12月に開館しました。翌々年3月に小樽市教育主任、傳法恂氏が小樽新聞に8回に亘り「図書館に就いて」を連載しています。中身を見ると現在でも十分通用する内容です。一部抜粋すると「市民の見識を高め、市民が時事問題に対しても公正なる判断と批判を持つように一般教養を高めなければならない」というもので、1935（昭和10年）年の図書館要覧によれば35種類もの新聞をとっていました。その後書庫が手狭になり1942年に増築しました。1945年に憲兵隊に図書館が接収され、書庫を留置場として利用しました。
- ・1974年に移動図書館車そよかぜ号を導入、運行を開始しました。
- ・1983年3月、新図書館（現在の建物）が開館し、今日に至っております。
- ・2015年現在、蔵書約30万冊、雑誌92タイトル、年間入館者数約20万人（1日平均約700人）、貸出冊数約38万冊となっており、1年間に1人3冊強の本を借りている計算になります。

#### 【図書館の目指すもの】

- ・図書館は「本を借りて読む」というイメージが強いですが、今はそれ以外のたくさんの仕事をしています。図書館には様々な質問が寄せられますが資料を探してお答えしています。資料がなければ、関連団体に問い合わせをして回答しています。小説が好きではないという方にも色々な疑問を解決する場所として図書館を利用して頂きたいと考えています。「小樽図書館の目指すもの」として、今年100周年を迎え、来年101日目からまた新たな100年が始まりますが、以下の性質は今でも不変であると考えています。
- ①独立独行自主自制自学自習の精神

- ②将来に於ける図書館は民衆を本位とし、全ての人が利用しなければならない。
- ③最大多数の市民に最大多量の福利を。
- ・元鳥取県知事で総務大臣を務めた、片山善博氏（慶応義塾大学教授）は知事時代、鳥取県の図書館を活性化しました。片山氏は「市民が自ら考え、自ら行動するために必要な知識や情報を提供する図書館は一人一人の市民の自立を支えるための「知の拠点」である。」とほぼ同じ事を言っています。

#### 【100年を迎える市立小樽図書館】

- ・図書館には色々な本や雑誌などの情報がたくさんあります。街の情報拠点、コミュニケーションの場でもあります。函館市立図書館は滞在型図書館と言われており、1日平均2,000人くらいの来館者があります。北見市内の図書館には囲碁、将棋、オセロなどゲームがたくさん置いてあり、高齢者の方が集まり、最後に本を借りて帰るというコミュニケーションの場となっています。
- ・小樽も赤ちゃんから高齢者まで全ての方が利用できる図書館です。その目指すものは次の3つです。
  - ①子供たちに本の楽しさを。
  - ②暮らしに仕事に役に立つ。
  - ③みんなが集まる、そして、みんなで創る図書館を。
- ・現在取組んでいることは様々な展示です。また、雑誌応援隊を作り雑誌タイトル数を増やしていきます。今年から小樽情報コーナーを作り、観光パンフレットや健康情報を提供していきたいと考えています。6月から100周年記念としてフェイスブックで情報を発信しています（週1回更新）。また、学校図書館と連携して子どもたちに本を届けたいと思っています。すべての市民が集う場所として、コミュニケーションの場所として、また暮らしに仕事に役立つ皆さんの情報を発信し、より多くの方に利用して頂きたいと考えております。
- ・最後になりますが、10月29日（土）、10時から19時まで「誕生祭」を開き、様々なイベントを催します。子どもから大人まで楽しめる内容となっております。また、「100年前の週の小樽」という企画を実施し、100年前の新聞を掲示しています。是非、来館をお待ちしております。

#### 出欠調べ

（10月4日分）

##### 1. 本日の欠席者（19名）

稲垣 哲也、遠藤友紀雄、小松田哲弘、西條 文雪、坂田 道昭、澤田 忠宏、渋谷 繁男、嶋田 秀人、杉江俊太郎、高橋 英明、武井 豊、中野 豊、花和 嘉貴、久末 智章、平松 正人、星野 昭雄、堀岡 秀之、松田 雅伸、米山 幸宏

##### 2. 本日の出席者（会員77名中58名）

（出席規定除外者9名中9名出席）

##### 3. 前々回（9月20日）の確定出席率（会員数77人）

（病欠者を除く出席会員76名 出席62名 81.58%）

##### 4. 前々回のメーキャップ

西條 文雪（樽南）、山田 雅敏（地区大会）

■次回のプログラム 「税務行政の現状と課題」 小樽税務署長 齋藤 保人様

■本日の記事担当（西村 仁）